



<環境>

(1) 年中を通して環境の温度・湿度に気をつけます。

◎人よりも熱中症（温度・湿度・日差し等）に

なりやすいです。また風邪もひきやすいです



温度：子猫 約24～25℃

成猫 約18～25℃

湿度：約50～60%

がベストです！！

(2) サークルに入れる場合は十分な広さを、そして
上り下りの縦運動が十分出来るようにしてあげましょう。

ストレスからも病気になります

また、ストレスにならないように、毎日サークルから出してのびのびさせて下さい。

(3) 清潔に保ちましょう。



(4) 事故や誤飲から守る為、危険な物を避けて下さい。



◎危険な誤飲の一例◎



観葉植物！



鳥や魚の骨



ビニール袋！



チョコレート



スルメ！



たばこ



おもちゃ



ヒキガエル



ニンニク・
ネギ類！！

その他の誤飲にも注意して下さい！

(誤飲をして手術をした子がたくさんいます)

◎危険な実例の一部◎

- ①電気コードをかじって感電した。
- ②お風呂（湯船）に入って溺れた。
- ③車から逃げて事故にあってしまった。
- ④外に出て行って帰って来ない。
- ⑤フタが開いていた洗濯機の中で寝ていた。
- ⑥ストーブやコンロに上ってやけどをした。
- ⑦部屋が暑くなっていて熱中症で倒れていた。
- ⑧他にも予想しない危険な事が起こる可能性があります。

猫ちゃんは危険な事がわかりません！

守ってあげて下さい



<必要な物>



- (1) 飼育に応じて、首輪・食器・寝床・トイレ・ブラシ・キャットタワー・おもちゃ・他
- (2) 猫ちゃんは爪とぎが大好きです。爪とぎはたくさんあると喜びます。
- (3) サイズは変わっていないか、用品が破損していないか、常にチェックしましょう。





WA I WA I HAPPY LIFE!



<健康チェックとお手入れ>

日頃から猫ちゃんの体を観察し、お手入れをして、スキンシップと健康管理をしましょう。
また触れる事により、しつけにも体調チェックにもつながります。

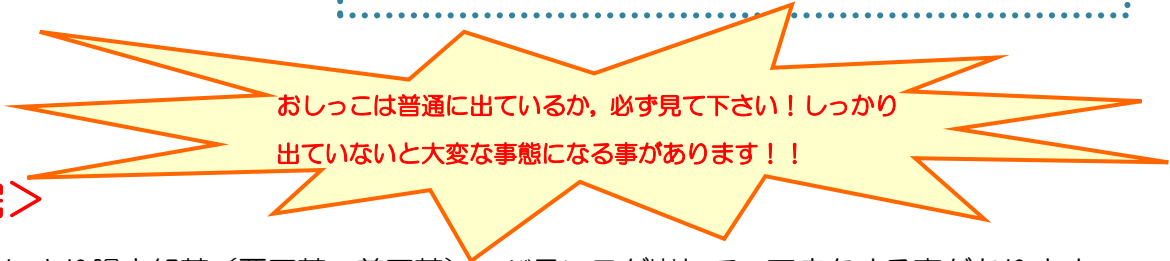


- ① 元気・食欲はあるか？
- ② 便の状態は？
- ③ 咳は？
- ④ 鼻は？
- ⑤ 耳は？
- ⑥ 口（歯）は？
- ⑦ 目は？
- ⑧ 皮膚・毛づや・毛玉は？
- ⑨ 爪は？
- ⑩ その他



*ブラッシング／爪切り／肛門腺しぼり／耳そうじ／シャンプー（カット）等が必要です。

⑩ シャンプー日とワクチン日の間隔は、一週間はあけて下さい。



<動物病院>

- (1) ストレスにより腸内細菌（悪玉菌・善玉菌）のバランスが崩れて、下痢をする事があります。
- (2) 特に子猫は抵抗力が低い為に、皮膚にカビやダニが発生したり、耳ダニがつく事があります。
- (3) 定期的な健康診断をおすすめします。
- (4) 混合ワクチンは毎年必要です。
- (5) 毛球予防も忘れずに！
- (6) その他
- (7) 気になる事があったら、**早急に受診**しましょう。

⑩ 病院には、
キャリーボックスに入れて
行きましょう



<その他>

- (1) 外に出たがっても、**絶対出さないで下さい**。ワクチンでも予防出来ない伝染病に感染したり、交通事故・迷子・・・保健所で処分という事にもなりかねません！
- (2) 万が一、外に出たら大変です。首輪に迷子札を付けましょう。
- (3) 猫ちゃんの気持ちになって、生活してあげて下さい。
- (4) しつけとはいえ、**体罰は絶対にやめて下さい**。
- (5) フードは消化吸収の良い、その子の体に合ったキャットフードを与えていきましょう。
- (6) 初めての家に帰ったら、習性上、隅に隠れてしまうかもしれません。見ていて下さい。
- (7) 動物取扱業者は都道府県知事等の許可を受けなければいけません
- (8) その他にもいろいろあります。

猫専門の飼育書等もご参照下さい。

